

# 第14回北海道ローターアクト交流会 報告書

**「E.Z.O」** ~Enjoy・Zone・Over~



- ◆とき・ところ◆ 平成27年11月7日(土)~8日(日)・プレミアホテル-TSUBAKI-札幌(ほか(札幌市))
- ◆ホストクラブ◆ 国際ローター-第2510地区 札幌南ローターアクトクラブ
- ◆提唱ロータークラブ◆ 国際ローター-第2510地区 札幌南ロータークラブ

## 友好交流調印式盟約書(抄)

北海道東部である RI 第 2500 地区ローターアクトクラブと北海道西部である RI 第 2510 地区ローターアクトクラブは発足してよりこれまでの間、共に母なる大地北海道に根を下ろし日々奉仕と親睦活動に勤め発展してきた。

我々両地区はそれぞれの地域にて培ってきたこのローターアクトの奉仕と親睦の輪をこれまでの見えないへだたりを乗り越え、互いに友好と交流の絆を誓い合い固く結びあった。

ここに 2000 年という大聖年を期に、奉仕と親睦の理想に集う両地区のアクターは先人達のこれまでの礎とロータリー精神の手本とし、友好と交流の盟約を結ぶこととした。

なお盟約期間は 3 年とし、更新を妨げないものとする。

### 盟 約 目 標

- 21 世紀という新世紀を迎える記念すべき年度を迎え、メモリアルな継続事業として交流会を実施する。
- 同じ母なる大地北海道にある地区として、意見交換会や文化交流等を通じ、相互理解・相互発展を促進させる。
- この交流をより成功させローターアクトのみならず北海道におけるロータリー活動の発展にも寄与する。

2000 年 10 月 21 日

国際ロータリー第 2500 地区	ガバナー	高 林 茂
国際ロータリー第 2510 地区	ガバナー	遠 藤 正 之
国際ロータリー第 2500 地区ローターアクト	地区代表	菊 池 和 浩
国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト	地区代表	齋 藤 英 和

# 北海道ローターアクト交流会開催趣旨並びに実現までの経緯

## 【趣 旨】

北海道は第 2500 地区・第 2510 地区の 2 つの地区に分かれており、「隣り同士」の地区ではありませんが、過去を振り返ると交流や共同事業はほとんど実施されていませんでした。

しかし、本州方面においては移動の容易さもあって地区間交流が盛んに行われており、ローターアクト同士の情報交換や親睦を深める場として活用されています。

そのような中、両地区は北海道に位置する隣り合う地区同士として、相互交流を深めていくことが大切であり、また、会員現象など抱えている諸問題の打開策の一助となると考え、この事業を「北海道ローターアクト交流会」と名付け、年に 1 度開催することとしました。

本交流会は、北海道に住みローターアクトの活動に取り組む仲間と、グループミーティングなどを通じて情報交換を行い、親睦を深め、自分達の職場や今後のローターアクト活動に良い影響を与える環境を提供することを基本とし、両地区の交流強化と参加者個人の自己研鑽を目的としています。

## 【経 緯】

北海道ローターアクト交流会実現までの経緯は以下のとおりです。

第 2500 地区ローターアクト 1998～1999 年度地区協議会の会長クラス懇親会の際に、隣の地区の情報がほとんどないので交流会をしてみてもどうかとの意見が上がり、これに全員が賛同しました。

これを受けて翌年度、第 2500 地区と第 2510 地区で協議を重ね、平成 12 年 10 月 21 日には帯広市にて両地区ガバナー立会のもと「友好調印式」を執り行いました。この調印の内容は「以降 3 年以内に交流会の実施・継続・内容について両地区で協議して答えを出す」というものでした。

2000～2001 年度からの交流会開催を実現するため、地区役員を筆頭に両地区で検討・競技を幾度も行いましたが、新たな行事を立ち上げるという点で整理しなければならない課題も多く、実施の必要性を再度確認する必要があるのではないかとの意見も出たことから、平成 14 年 1 月 12 日札幌市にて両地区各クラブの代表者が参加しての意見交換会を開催し、両地区の状況や交流会に対する考え方などについて長時間にわたり話し合いました。結果、交流会をぜひ実現し継続していこうという意思を参加全クラブから確認しました。

その後、交流会開催にあたっての細部の調整を進め、交流会は年 1 回、両地区が交互にホストして開催することとなり、記念すべき第 1 回北海道ローターアクト交流会は、第 2500 地区が受け持ち、道東地区である第 3 ブロック（釧路北・根室・帯広 RAC）がホストとなって、平成 14 年 11 月 23 日・24 日に釧路市で開催されました。

そうして今日まで大変有意義な大会を積み重ねて、2014～2015 年度には第 13 回の交流会を帯広市にて開催され、この度 2015～2016 年度第 14 回の交流会が札幌南ローターアクトクラブのホストのもと札幌市にて開催されます。

北海道ローターアクト交流会は、近年北海道外からのローターアクトの参加も増え、全国のローターアクトが北海道の大地に集うことで、北海道の 2 つの地区の連携強化に加え、全国の多数の地区との交流により、ローターアクトのより一層の活性化に大きく貢献すると確信しております。



# プログラム

## 11月7日(土) 第1日目

12:00～ 登録受付開始

13:00～ 開会式 <プレミアホテル-TSUBAKI-札幌>

【司会】門脇 みなみ

点鐘	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト代表	石川 樹
開会宣言	第 14 回北海道ローターアクト交流会実行委員長	蔡 爽
国歌・ローターアクトソング斉唱		
ご来賓・参加クラブ紹介	国際ロータリー第 2500 地区ローターアクト代表	類瀬 優那
	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト代表	石川 樹
実行委員長挨拶	第 14 回北海道ローターアクト交流会実行委員長	蔡 爽
ホスト地区ローターアクト代表挨拶	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト代表	石川 樹
ご来賓挨拶	国際ロータリー第 2510 地区パストガバナー	羽部 大仁 様
地区ローターアクト委員長挨拶	国際ロータリー第 2500 地区ローターアクト委員長	池田 真哲 様
	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト委員長	石山 嘉治 様
提唱ロータリークラブ会長挨拶	国際ロータリー第 2510 地区札幌幌南ロータリークラブ会長	加藤 康夫 様
諸事連絡・写真撮影		

14:00～ プログラム①「Act Quest」

【司会】伊東 かほり

18:00～ 懇親会 <プレミアホテル-TSUBAKI-札幌>

【司会】吉田 剛

乾杯の挨拶	国際ロータリー第 2510 地区札幌幌南ロータリークラブ幹事	松根壽史男 様
余興		
締めめの挨拶	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト委員	今井 義憲 様

20:30～ 2次会 <異酒屋 地球人>

## 11月8日(日) 第2日目

9:00～ プログラム②「スポーツ交流会」 <ARIAKE BASE>

【司会】深貝 友香梨

11:30～ 閉会式 <ARIAKE BASE>

【司会】門脇 みなみ

開催記念証引継ぎ		
次年度ホスト地区ローターアクト代表挨拶	国際ロータリー第 2500 地区ローターアクト代表	類瀬 優那
講評	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト委員長	石山 嘉治 様
閉会宣言	第 14 回北海道ローターアクト交流会実行委員長	蔡 爽
点鐘	国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト代表	石川 樹
諸事連絡・解散		



# 参加者

◀◎ : 会長 ● : 副会長 ○ : 幹事▶

## ご来賓

国際ロータリー第2510地区	パストガバナー	羽部 大仁 様	(札幌南ロータリークラブ)
国際ロータリー第2500地区	ローターアクト委員長	池田 真哲 様	(網走ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区	ローターアクト委員長	石山 嘉治 様	(森ロータリークラブ)

## ご参加ロータリークラブ【国際ロータリー第2510地区】

国際ロータリー第2510地区	ローターアクト副委員長	川下 和光 様	(札幌南ロータリークラブ)
国際ロータリー第2510地区	ローターアクト委員	今井 義憲 様	(函館東ロータリークラブ)
札幌南ロータリークラブ	◎加藤 康夫 様	○松根壽史男 様	伊藤 利通 様 蝦名 大典 様
	大作 佳範 様	金子 兼治 様	近藤 浩 様 斉藤 朋博 様
	高橋 耕 様	土谷 享 様	寺尾 壽晃 様 中川 信喜 様
	長沢 祐純 様	針谷 毅 様	樋坂 修 様 深貝 亨 様
	藤田 理恵 様		
札幌南ライラックロータリー衛星クラブ		○安藤由香里 様	川端さなえ 様

## ご参加ローターアクトクラブ【国際ロータリー第2560～2820地区】

国際ロータリー第2560地区	直前代表	伊藤 雅之 様	(新潟南ローターアクトクラブ)
	地区代表エレクト	川越 健矢 様	(三条ローターアクトクラブ)
	新潟南ローターアクトクラブ	◎後藤 友彦 様	
	新潟南ローターアクトクラブ	石山 夏生 様	
国際ロータリー第2580地区	東京荒川ローターアクトクラブOB	杉山 幸平 様	
国際ロータリー第2600地区	地区代表	成田 佳織 様	(長野ローターアクトクラブ)
	地区副幹事	坂井 寿彰 様	(長野ローターアクトクラブ)
	地区会計	河内 朋世 様	(長野ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2610地区	直前代表	佐藤 宣弥 様	(小松ローターアクトクラブ)
国際ロータリー第2650地区	地区代表	山本 真菜 様	(奈良ローターアクトクラブ)
	地区代表ノミニー	宮内 翼 様	(京都南ローターアクトクラブ)
	奈良ローターアクトクラブ	◎前川 美貴 様	
	奈良ローターアクトクラブ	○村上あずさ 様	
国際ロータリー第2760地区	名古屋中央ローターアクトクラブ	尾関 晃一 様	
国際ロータリー第2820地区	地区代表	齊藤 一樹 様	(水戸ローターアクトクラブ)
	地区幹事	柳 加奈子 様	(下館ローターアクトクラブ)
	県西県南エリア分区代理	大河原悠貴 様	(下館ローターアクトクラブ)
	真壁ローターアクトクラブ	◎高野 純 様	
	下館ローターアクトクラブ	池田 遼太 様	



# 参加者

◀◎：会長 ●：副会長 ○：幹事▶

## 参加ローターアクトクラブ【国際ロータリー第2500地区】

地区代表	類瀬 優那	(根室ローターアクトクラブ)			
地区広報	鈴木 彩乃	(帯広ローターアクトクラブ)			
地区会計	藤崎 康之	(網走ローターアクトクラブ)			
地区代表ノミニー	辛島 俊英	(名寄ローターアクトクラブ)			
直前代表	東方 翔	(富良野ローターアクトクラブ)			
第1ブロック代理	高瀬 英俊	(富良野ローターアクトクラブ)			
釧路北ローターアクトクラブ	○齋藤 慎也	南部 智美			
美幌ローターアクトクラブ	太田 淳一	小南 久斗	柴田 祐也	久山 武徳	
北見ローターアクトクラブ	◎高桑 弘基	●森谷 真和	○杉山 絵里		
根室ローターアクトクラブ	●高橋 直子	山崎 祐介			
網走ローターアクトクラブ	◎佐野 佑樹	高田 聡	立花 健	林 裕太	村内 昭博
稚内ローターアクトクラブ	○林 純一	早崎 玲央	山村 春香	山本 紘輝	
帯広ローターアクトクラブ	◎道見 賢人	○曾根 啓介	内野 江香	桧垣ゆかり	奥 朋聡
	門野 冴美	川瀬 千尋	高橋 佑輔	田之畑由希	濱谷 隆弘
	保苅桂太郎	米澤 和樹	浜野 祥一 (OB)		
富良野ローターアクトクラブ	●星 亜樹	○蔭川 舞子			

## 参加ローターアクトクラブ【国際ロータリー第2510地区】

地区代表	石川 樹	(赤平ローターアクトクラブ)			
地区代表補佐	深貝友香梨	(札幌南ローターアクトクラブ)			
地区会計	田中 美晴	(赤平ローターアクトクラブ)			
地区広報	伊東かほり	(札幌南ローターアクトクラブ)			
地区広報	北村 秀美	(千歳ローターアクトクラブ)			
地区広報	中野 佑美	(室蘭北ローターアクトクラブ)			
地区代表ノミニー	三浦 幸恵	(札幌南ローターアクトクラブ)			
函館大学ローターアクトクラブ	◎阿保 孝彦	○吉田 直輝	福士 誠也	三ツ谷美帆	宮崎 玲奈
	渡邊 光郎				
室蘭北ローターアクトクラブ	畠山 裕太				
赤平ローターアクトクラブ	◎塩地 恵実	工藤 睦美	鈴江 凌	武田 洋平	
千歳ローターアクトクラブ	◎汪 可惺	○村山はるか			
札幌南ローターアクトクラブ	●プーワナット・スパーブクン	○吉田 剛	太田 亮	門脇みなみ	
	蔡 爽	佐々木ななみ	長沢 蓮	星野 太郎	文 琴
	松原 京介	伊藤 晴竹 (OB)	後藤 康友 (OB)		

# 開会式

今回は「E.Z.O～Enjoy・Zone・Over～」をテーマに掲げ、第14回北海道ローターアクト交流会を開催いたしました。テーマにふさわしく、道内からはもちろん、道外からも多くの方々にお越し頂きました。ローターアクトのメンバーとして、各種プログラムを通じて意見交換や親睦・交流を行い、相互理解・相互発展を促進していく場となりました。

また、開会に先立ち、両地区役員で代表者会議を行い、会議内および今回ご出席の皆さまの承認をいただき、両地区の「友好交流調印式盟約」を更新し、次年度以降も当交流会を開催することになりました。



石川 2510 代表による点鐘



蔡実行委員長による開会宣言



ローターアクトソング斉唱



両地区代表による参加クラブ紹介



蔡実行委員長あいさつ



石川 2510 地区代表あいさつ



羽部パストガバナーあいさつ



池田 2500 地区 RA 委員長あいさつ



石山 2510 地区 RA 委員長あいさつ



加藤札幌幌南 RC 会長あいさつ



会場の様子

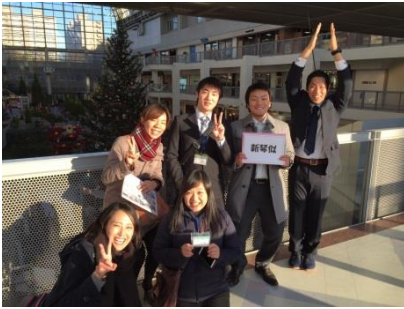


両地区代表と実行委員長

# プログラム① 「Act Quest」

1日目プログラムは「Act Quest」と題して、札幌の名所をチームに分かれ、クイズラリーしました！ドニチカキップで地下鉄を乗り継ぎ、時間ギリギリまでのチームもチェックポイントをめぐりました。チェックポイントの選択によって得点が変わるドキドキなクイズラリーでしたが、各チーム知恵を出し合ってクイズを解いていました。また、ヒントを頼りに難関のシークレットチェックポイントに到着したチームもあり、チームワークが光りました。

寒い中でしたが、札幌の街と親睦を楽しんでいただけたかと思います。参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした！



新琴似チーム、さっそく到着！



定山溪チームはアゲアゲでした↑↑



新川チーム in サッポロファクトリー♪



笑顔がステキなあいの里チーム♥



手稲チームは気合入れて「おおー！」



八軒チーム、クイズ大正解！



星置チームは最多 10 人！



桑園チームは円山動物園へ！



テレビ塔が2つ!?



厚別…シークレット in アサビール園



苗穂…シークレット in 札幌競馬場



ラストクイズ！



# 懇親会

懇親会はプレミアホテル-TSUBAKI-札幌さんの料理に舌鼓を打ちつつ、普段交流できない他地区の方々と親睦を深めました。また、プログラム「Act Quest」の結果発表とチーム対抗パンスト相撲を行いました。パンスト相撲は大盛り上がりで、白熱した戦いが繰り広げられました。そしてパンストを通して熱い友情も芽生えました。1日目の総合優勝は「苗穂」チームでした。おめでとうございます！！

1日目のプログラムや懇親会を通じて、テーマのとおり「Zone（地域）」を超えたつながりがより深くなったように感じます。交流会だけでなく、さまざまな奉仕活動を通じて、たくさんの地区とつながりができればと感じています。



各テーブルの様子 その1



各テーブルの様子 その2



各テーブルの様子 その3



各テーブルの様子 その4



各テーブルの様子 その5



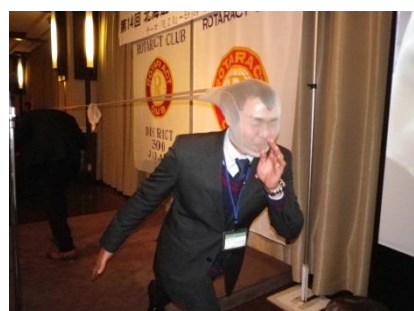
クイズリーのポイント発表！



皆さん、注目！



余興☆パンスト相撲！！



勢いよくダッシュ！



☆勝者☆



パンストの友情生まれました♡



クイズリーと合わせて優勝！

## 2 次会

2次会は会場を移し「異酒屋 地球人」で行いました。それぞれ喋り足りない人、喋ってみたい人がテーブルを囲み自由な雰囲気で行なわれました。ここでの余興はタバスコ入りロシアンルーレット☆北海道交流会 1日目は盛り上がり冷めやらぬまま、終わりを遂げました。ちなみに、それでもまだまだ語り足りないメンバーは3次会・4次会進み、夜は更けていきました・・・。



APRRCのPRしていただきました！



皆でタバスコ・ロシアドリンク☆



会場の様子



川越 2560 地区代表エレクトの乾杯



3次会でもこの盛り上がり♪



交流はまだ続きます(^^)♪

### 1日目の集合写真



## プログラム② 「スポーツ交流会」

2日目スポーツ交流会は ARIAKE BASE にて「サバイバルゲーム」を行いました。初めて銃を持った女子も、子供の頃を思い出した男子も一緒になって楽しみました。試合が始まったとたん、やる気に満ちて積極的に参加する参加者もいたり、いわゆる「ゾンビ」となって、ずっと銃を撃つような珍プレーもあり、チームや個人を応援する声援も賑やかにゲームを盛り上げました。小雨の降る寒い中ではありましたが、ゲームの後は汗をかく程に白熱したゲームになりました。

ホストクラブの予想を超える盛り上がりになりましたし、当交流会の楽しい思い出の1ページになったのではないかと思います。



まずは、ラジオ体操第一から〜♪



サバゲーのルール説明



天下一武闘会！？笑



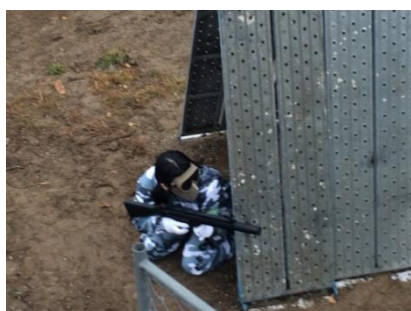
完全武装



準備はばっちり！



開戦！



狙っております！



援護射撃は任せて！



勝利☆



結果発表！



景品ゲット(^◇^)



最強チーム！優勝！！

# 閉会式

閉会式では、開催記念証引継ぎを行い、次年度の2500地区ホストの開催に向け意識を共有しました。また、石山委員長から暖かいご講評を頂きました。北海道交流会参加していただいた皆様、2日間お疲れ様でした。準備期間・当日と皆様に支えられ無事に北海道交流会を開催することができました。感謝申し上げます。ありがとうございました。



開会式



開催記念証引継ぎ



類瀬 2500 地区代表あいさつ



石山 2510 地区 RA 委員長のご講評



蔡実行委員長の閉会宣言



点鐘…2日間の日程が終了しました

## 2日目の集合写真



# 2日間の思い出



# 2日間の思い出



## 『北海道交流会講評』

国際ロータリー第 2500 地区 ローターアクト委員長 池田 真哲

北海道交流会も今回で 14 回目となり、これまで両地区が 7 回ずつホストを務めてきました。回を追うごとに内容も充実し、本来の目的である「オール北海道の交流の場」として意義あるものになってきていると感じました。参加したアクターは、地区の垣根を越え、15 クラブが一つとなって、各プログラムをエンジョイしたと思います。

開会式の挨拶の中で、ローターアクトとは「人見知り克服の場」であるとお話しましたが、こうした交流の機会を生かし、自分というものを知ってもらい、またいろいろな個性をもった仲間達から刺激を受けることによって、30 歳という人生の節目に向けて成長してほしいと思います。自分から声をかける勇気を手に入れることができるようになると、人生の幅が格段に広がります。この経験こそがローターアクトの極意のような気がします。今回の交流会の中でも、自分から私に声を掛けてくれたアクターがいましたが、数年前とは別人のような受け答えができており、驚きとともに頼もしく見えました。こうした成長を目の当たりにすることができることが、ロータリーの青少年奉仕の成果であります。

講評を頼まれておきながら二日目を参加できず、石山委員長には大変ご迷惑をおかけしました。よって、全体の講評を述べる立場ではございませんが、ホストを務めた札幌南ローターアクト並びにロータリークラブの皆様のご尽力に深く感謝いたします。また、加藤会長には流行りの「五郎丸ポーズ」で盛り上げていただきました。

来年はゾーン会議が札幌で開催されます。準備も大変ですが、両地区力を合わせ、成功へ向けて頑張してほしいと思います。二日間お疲れ様でした。

## 『北海道交流会感想』

国際ロータリー第 2500 地区 ローターアクト代表 類瀬 優那

今年度の北海道ローターアクト交流会は 2510 地区での開催でしたので、私は純粋に楽しませてもらうという気持ちで参加させて頂きました。

1 日目のプログラムは、地下鉄を利用して、クイズを解きながら観光名所を巡るなど工夫が凝らしており、札幌ならではのものでした。『E.Z.O～Enjoy Zone Over～』という交流会のテーマに相応しく、クラブや地区、ゾーンという枠を越えて、同じアクターとして協力し、楽しみながら行うことが出来ました。

2 日目のスポーツ交流会では『サバイバルゲーム』が行われました。今までにないスポーツ交流会でしたので、正直何をやるのだろうと不安でした。でも実際やってみるともちろん当たると痛かったのですが、それよりも楽しさの方が勝ってました！！参加したみんなも子供に戻ったように、夢中になってはしゃいでいました。私のチームは結果は最下位でしたがとてもいい経験が出来ました！！

2 日間を通して、たくさんの人とお話が出来、交流を深め、一緒に楽しむ事が出来ました。これがアクトの良さだと改めて実感しました。

今回、子連れでの出席となってしまった為、大変不安な面もあり、ご迷惑を多々おかけしてしまいました。でも皆さまが温かく迎えて下さり、助けてくださったおかげで、無事 2 日間を代表として終えることが出来、尚且つとても楽しませて頂きました。本当に感謝しています。ありがとうございました。進行、運営、誘導、プログラムや懇親会、そしておもてなし…とにかくどこをとっても学ぶべきことが多かった交流会でした。

次年度の北海道交流会は、当地区で行われます。今年度、学ばせて頂いたことを最大限に活かし、2500 地区らしさを存分に出していけるものになりたいと考えています。道内のアクターの皆さんはもちろんの事、道外のアクターの皆さんにも北海道の魅力を感じてもらえるようおもてなしさせていただきます！！次年度は、2500 地区でお待ちしていますので、宜しくお願いします！！

最後に、ホストクラブの札幌南ローターアクトクラブの皆さま、そして 2510 地区の地区役員の皆さま、そして参加された皆さま、2 日間大変お疲れさまでした。

## 『第 14 回北海道ローターアクト交流会』

国際ローター第 2510 地区 ローターアクト委員長 石山 嘉治

二十四節気で立冬に当たる 11 月 7 日、8 日の 2 日間にわたり、プレミアホテル-TSUBAKI-札幌をメイン会場として第 14 回北海道ローターアクト交流会が開催されました。

この交流会は北海道で活躍するローターアクトクラブが地区の垣根を超え友好と交流の絆を深めることを目的として 2000 年（平成 12 年 10 月 21 日）に両地区ガバナー立会いのもと「友好調印式」が執り行われております。その後 2002 年（平成 14 年）第 1 回北海道交流会が 2500 地区釧路で開催され以後相互の地区で友好の絆を深めてきております。

盟約期間が 3 年間となっており、今年は第 4 期盟約期間の 3 年目にあたり、午前 11 時より両地区ローターアクト代表者会議を開き、互いの活動報告、活動予定発表に続き、盟約の更新について話し合い継続することを確認致しました。

会議に於いて 2500 地区・池田地区ローターアクト委員長と情報交換を行い有意義な時間となりました。

午後 1 時、開会式では嵯峨ガバナー代理として羽部パストガバナーのご臨席を頂き、2500・2510 地区のアクトメンバー、アクト OB、ロータリアンに加え、1 都、1 府、4 県のアクターも集い 110 名を超える盛大な開会式となりました。

開会式終了後、1 日目の交流プログラムは「Act Quest」と題しクイズラリーが行われ、地下鉄ドニチカ切符（1 日乗車券）を利用し札幌名所を巡るチーム対抗戦で各地区メンバーとの熱い交流が図られました。

ホテルでの懇親会では表彰式、ゲームと垣根を超えた交流で大いに盛り上がり楽しい時間を過ごせたのではと思います。

アクトメンバーはその後 2 次会でも夜遅くまで懇親されたようです。

2 日目のスポーツ交流会は場所を郊外の「ARIAKE BASE」に移動し小雨の降る肌寒い天候も、ものともせずチーム対抗戦でサバイバルゲームが行われました。

2 日間の交流を通じて若さ溢れる行動力、チーム戦で見た団結力が大いに発揮され、友情の輪が大きく膨らんだようです。

1 日目の交流プログラムは、札幌市中心部の名所や観光スポットを巡ることで、都市空間を堪能することが出来たのでは、2 日目は市内中心部から離れ大自然の中で大いに盛り上がる事が出来たと感じました。1 日目、2 日目はチームの構成を変えより多くの人と一体感ができるよう考慮されていて自然に親しくなれる演出がされていました。

北海道ローターアクト交流会を開催するにあたり、今年 1 月より企画運営会議を開始し石川 樹地区代表、ホストを務めました札幌南ローターアクトクラブ三浦幸恵会長、蔡 爽実行委員長を中心に、緻密な計画に基づく発想力、企画力をもって準備され、交流会当日は地区役員、札幌南ローターアクトクラブメンバー一同が一丸となってスムーズな運営がなされました。これも常日頃から奉仕活動を通じて培ってきたものであると思います。

レジュメなどの配布資料や、お土産紹介に見られるコメントは商品の紹介にとどまらず札幌市の企業紹介も兼ねており、ローターアクトプログラムが生かされた賜物であり、大いに称賛致します。加えて委員長就任時、少ない投資で大いなる成果をと、地区役員に伝えておりましたが、出席お礼の手書きメッセージカードや交流会開催記念付箋で想像以上の細やかな気配りに関心致しました。

昨年までの交流会で両地区以外のローターアクトクラブがどの程度参加されていたか承知してはおりませんが、今回の交流会が参加者の琴線に触れたことにより今後開催される交流会ではさらに多くのアクトが集うことを期待しております。

結びにホストを務めた札幌南ローターアクトクラブメンバーの労苦に対し感謝すると共に、提唱クラブであります札幌南ロータークラブに厚く御礼申し上げます。



## 『第 14 回北海道ローターアクト交流会を終えて』

国際ローター第 2510 地区 ローターアクト代表 石川 樹

平成 27 年 11 月 7～8 日にかけて、札幌市にて「第 14 回北海道ローターアクト交流会」が開催されました。

今回は 2500・2510 地区で約 70 名、北海道外からも 20 名近くの方がご参加いただき、ロータリアンの参加者を合わせると、100 名以上の方々が一堂に集まり、交流を深めることができました。

1 日目は「Act Quest」と題し、札幌市内の有名な場所を地下鉄でめぐり、その地にちなんだクイズを答えていただくというゲームでした。日中冷え込み、寒い中での実施でしたが、各チームともみんな協力しながら、北海道や札幌市の魅力を少しでも感じていただけたかなと思います。

また、懇親会、二次会、そして三次会、締めめのラーメン…と、私自身参加者の皆さんとたくさんお話しし、語り合うことができたのは、とても貴重な時間でした。

2 日目は「サバイバルゲーム」を行いました。最初は「当たったら痛そう」とか「ケガしそう」という声もありましたが、いざやってみると白熱したゲームばかりで、大変盛り上がり、1 日間の日程を無事終了することができました。

さて、今回の北海道交流会を通じて改めて感じたことがあります。それは、開会式の挨拶でも話した「人とのつながりがアクトの醍醐味」ということです。

北海道内のみならず、北海道外の方々が一堂に集まって交流できる機会は、普段生活している中ではなかなか経験できることではないと思います。今回のテーマにもありました「E.Z.O」…さまざまな地域を超えて北海道で交流を楽しむ…私自身も皆さまにとっても、テーマのとおり充実した交流会になったと感じています。また、たくさんの場面で参加者全員の心の温かさにもふれることができ、「アクトの魅力・醍醐味」を味わうことができた 2 日間だったのではないのでしょうか。

今後もこのようなつながりを大切にしながら、今回経験したこと、学んだこと、感じたことを一人ひとりがこれからの様々な場面で生かしていただけたらと願っています。

最後に、今回ホストクラブとして準備や運営を一生懸命頑張った札幌南ローターアクトクラブのみんな、そして、お忙しい中ご参加いただきました皆さまに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 『第 14 回北海道ローターアクト交流会』

第 14 回北海道ローターアクト交流会 実行委員長 蔡 爽

皆様、今回第 14 回北海道ローターアクト交流会、北海道内をはじめ、北海道外からも、たくさんご参加いただき、誠にありがとうございます。

準備の段階や当日は至らない点がありましたこととお詫び申し上げますと共に、皆様に感謝いたします。どうもありがとうございます。さて、今回の北海道ローターアクト交流会は、石川代表、三浦会長をはじめ、札幌南ローターアクトのメンバー一人一人がアイデアを出していき、プログラム内容の確定やプログラム資料の作成、プログラム記念品の準備など色々長い月日がかかりました。

1 日目のプログラムは札幌市内の有名な場所を巡るクイズラリーが行いました。各地区のアクトメンバーを集まって、地下鉄ドチカード（一日乗車券）を利用し、札幌市内を観光しながら、たくさんの方と交流しました。

2 日目はスポーツ交流会として、サバイバルゲームが行いました。チーム対抗戦で他地区メンバーとの熱い交流ができました。サバイバルゲームの参加者はほとんど初めてですが、皆さんは楽しく参加していただき、とても盛り上がりました。

2 日間のプログラムを通じて、全国のアクトたくさんの方と楽しく交流でき、とても貴重な体験ができました。

今後、たくさんの方々と、もっと交流していきたいと思っています。これからも札幌南ローターアクトクラブを宜しくお願いいたします。

## 友好交流調印式盟約更新書(抄)

北海道東部であるR I第2500地区ローターアクトと北海道西部であるR I第2510地区ローターアクトは発足してよりこれまでの間、ともに母なる大地北海道に根を下ろし日々奉仕と親睦活動に勤め発展してきた。

我々両地区はそれぞれの地域にて培ってきたこのローターアクトの奉仕と親睦の輪をこれまでの見えないへだたりを乗り越え、互いに有効と交流の絆を誓い合い固く結びあった。

ここに2000年と言う大聖年を期に、奉仕と親睦の理想に集う両地区のアクターは先人たちのこれまでの礎とロータリー精神を手本とし、友好と交流の盟約を結ぶこととした。





なお盟約期間は3年とし、更新を妨げないものとする。

### 盟 約 目 標

- 継続事業として交流会を実施する。
- 同じ母なる大地北海道にある地区として、意見交換会や文化交流等を通じ、相互理解・相互発展を促進させる。
- この交流をより成功させローターアクトのみならず北海道におけるロータリー活動の発展にも寄与する。

2000年10月に交わした上記盟約書における内容について、3年の盟約期間(2016～2018年度)の更新を証するため、本書2通を作成し、署名捺印の上両地区各1通を保有する。

27年 11月 7日

国際ロータリー第2500地区ローターアクト	地区ローターアクト委員長	<u>池田真哲</u>	
国際ロータリー第2510地区ローターアクト	地区ローターアクト委員長	<u>石山嘉治</u>	
国際ロータリー第2500地区ローターアクト	地区ローターアクト代表	<u>類瀬優那</u>	
国際ロータリー第2510地区ローターアクト	地区ローターアクト代表	<u>石川 樹</u>	

【開催日】平成27年11月7日（土）～8日（日）

【会 場】札幌市 プレミアホテル-TSUBAKI-札幌 ほか

【ホ ス ト】国際ローター第2510地区 札幌幌南ローターアクトクラブ

①収入の部

摘 要	金 額	備 考
地区分担金	200,000	2500地区 ¥100,000 2510地区 ¥100,000
登録料	734,000	RAC ¥7,000×82名 RC ¥8,000×20名
2次会	207,500	RAC ¥2,500×76名 RC ¥2,500×7名
宿泊費	500,000	RAC ¥7,000×68名 RC ¥12,000×2名
ご祝儀	30,000	
合 計	1,671,500	

②支出の部

摘 要	金 額	備 考
会場使用料	0	
看板料	16,200	縦看板 ¥5,400 横看板 ¥5,400×2枚
印刷費	10,000	席札など
記念盾プレート作成代	3,000	
郵送料	5,000	
消耗品費・雑費	27,334	
登録セット	ネームプレート 1,000 記念品 49,284 パンフレット 24,000 袋 4,322	200円×120名
メインプログラム①	交通費 46,280	ドニチカキップ520円×89名
懇親会	懇親会費 490,000 余興 5,000 景品 29,130	RAC ¥5,000×81名 RC ¥5,000×17名
2次会	飲食代 181,700 景品・余興 16,200	RAC ¥2,300×74名 RC ¥2,300×5名 200円×81名
スポーツ交流会	会場使用料 120,000 道具使用料 60,000 景品 25,100	RAC ¥1,500×80名 ¥3,000×20丁
代表者会議	0	部屋代
控え室	0	RC控え室
宿泊費	473,030	トリプル ¥6,480×3名/部屋×15部屋 ツイン ¥7,560×2名/部屋×10部屋 シングル ¥15,120×2部屋
バス借用代	40,000	
代表者会議弁当代	13,300	¥700×19名
報告書印刷代	30,000	
合 計	1,669,880	

地区返還金（収入－支出）	1,620	2500地区：810円 2510地区：810円
--------------	-------	-------------------------

第14回北海道ローターアクト交流会の収支について、上記のとおりご報告いたします。

平成27年11月30日

国際ローター第2500地区ローターアクト代表

類瀬 優那



国際ローター第2510地区ローターアクト代表

石川 樹





◆発行年月◆

平成 28 年 2 月

◆発行元◆

第 14 回北海道ローターアクト交流会ホストクラブ

国際ロータリー第 2510 地区 札幌幌南ローターアクトクラブ